

安全上のご注意 必ずお守りください

- ここに表した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷^{※1}を負うことが想定される内容を表します。

注意 取り扱いを誤った場合、傷害^{※2}または物的損害^{※3}の発生が想定される内容を表します。

※1 重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療に入院・長期の通院を要さないけがややけど、感電などをさします。

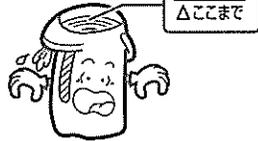
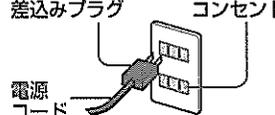
注意 △記号は、警告、注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な注意内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

禁止 ⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。具体的な禁止内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

指示 ●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。具体的な指示内容は図の中や近くに文章や絵で表します。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

警告

<p>分解禁止 改造はしない。また修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。</p>	<p>禁止 満水表示以上の水を入れない。湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。満水表示</p> 	<p>禁止 電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。感電・ショート・発火の原因になります。</p> 
<p>水ぬれ禁止 水につけたり、水をかけたりしない。流し台など水にぬれた場所に置かない。ショート・感電の恐れがあります。</p>	<p>禁止 上ぶたをつけたまま残り湯をすてない。上ぶたがはずれたときに湯がかかってやけどする恐れがあります。</p>	<p>禁止 電源コードを傷つけない。無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。</p>
<p>ぬれ手禁止 ぬれた手で差し込みプラグを抜き差ししない。感電やけがをすることがあります。</p>	<p>禁止 本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上ぶたを持って移動や排湯をしない。自動ロックされていても、本体を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。</p>	<p>禁止 氷を入れて保冷用に使わない。結露が生じ、感電、故障の恐れがあります。</p>
<p>接触禁止 蒸気口に手を触れない。やけどをすることがあります。特に乳幼児にはさわらせないようにご注意ください。</p>	<p>禁止 ポットを転倒させない。自動ロックされていても、本体を傾けたり倒したりすると注ぎ口や蒸気口から湯が流れ出て、やけどの恐れがあります。</p>	<p>禁止 交流100V以外では使用しない。火災・感電の原因になります。</p>
<p>禁止 蒸気口をふきんなどでふさがない。湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。上ぶたの変形・変色や故障の原因になります。</p>	<p>禁止 上ぶたを勢いよく閉めない。湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。</p>	<p>禁止 水以外のものをわかさない。お茶、牛乳、酒などはわか上るときにふき出してやけどの恐れがあります。</p>
<p>禁止 子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わない。やけど・感電・けがをすることがあります。</p>		

警告

<p>禁止 マグネットプラグの先端にピンなど金属片やごみを付着させない。感電・ショート・発火の原因になります。</p>	<p>必ず実施 差し込みプラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。感電・ショート・発火の原因になります。</p>	<p>必ず実施 差し込みプラグの刃（プラグの先端）および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふく。火災の原因になります。</p>
<p>禁止 マグネットプラグをなめさせない。感電やけがの原因になります。特に乳幼児にはさわらせないようにご注意ください。</p>	<p>必ず実施 定格15A以上のコンセントを単独で使う。他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。</p>	<p>必ず実施 上ぶたは確実に閉める。倒れたときに湯が流れ出てやけどの恐れがあります。</p>

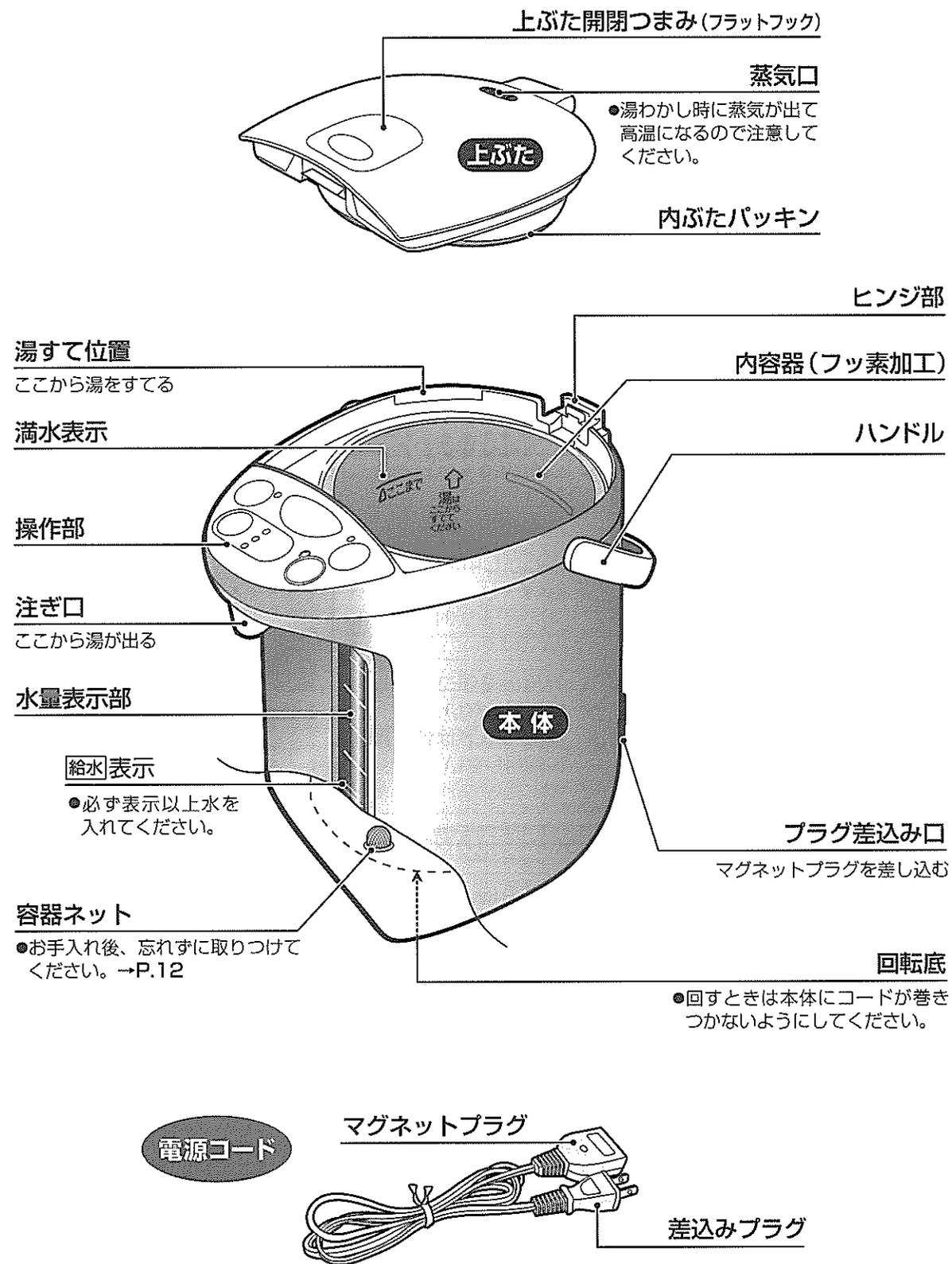
注意

<p>接触禁止 上ぶたを開けるときの、出る蒸気に触れない。やけどの原因になります。</p>	<p>禁止 出湯中に本体を回さない。湯が飛び散りやけどの恐れがあります。</p>	<p>必ず実施 使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く。けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。</p>
<p>接触禁止 使用中や使用後しばらくは高温部に触れない。やけどの原因になります。</p>	<p>禁止 不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使用しない。火災の原因になります。</p>	<p>必ず実施 お手入れは冷えてから行う。高温部に触れ、やけどの恐れがあります。</p>
<p>禁止 本体を持ち運ぶときは、上ぶた開閉つまみに触れない。上ぶたが開いてけがややけどをすることがあります。</p>	<p>禁止 湯わかし中は、湯を注がない。湯が飛び散りやけどの原因になります。</p>	<p>必ず実施 差し込みプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の差し込みプラグを持って抜く。感電やショートして発火することがあります。</p>
<p>禁止 壁や家具の近くで使わない。蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色、変形の原因になります。</p>	<p>禁止 専用の電源コード以外は使用しない。電源コードは他の機器に転用しない。故障、発火の恐れがあります。</p>	

お願い

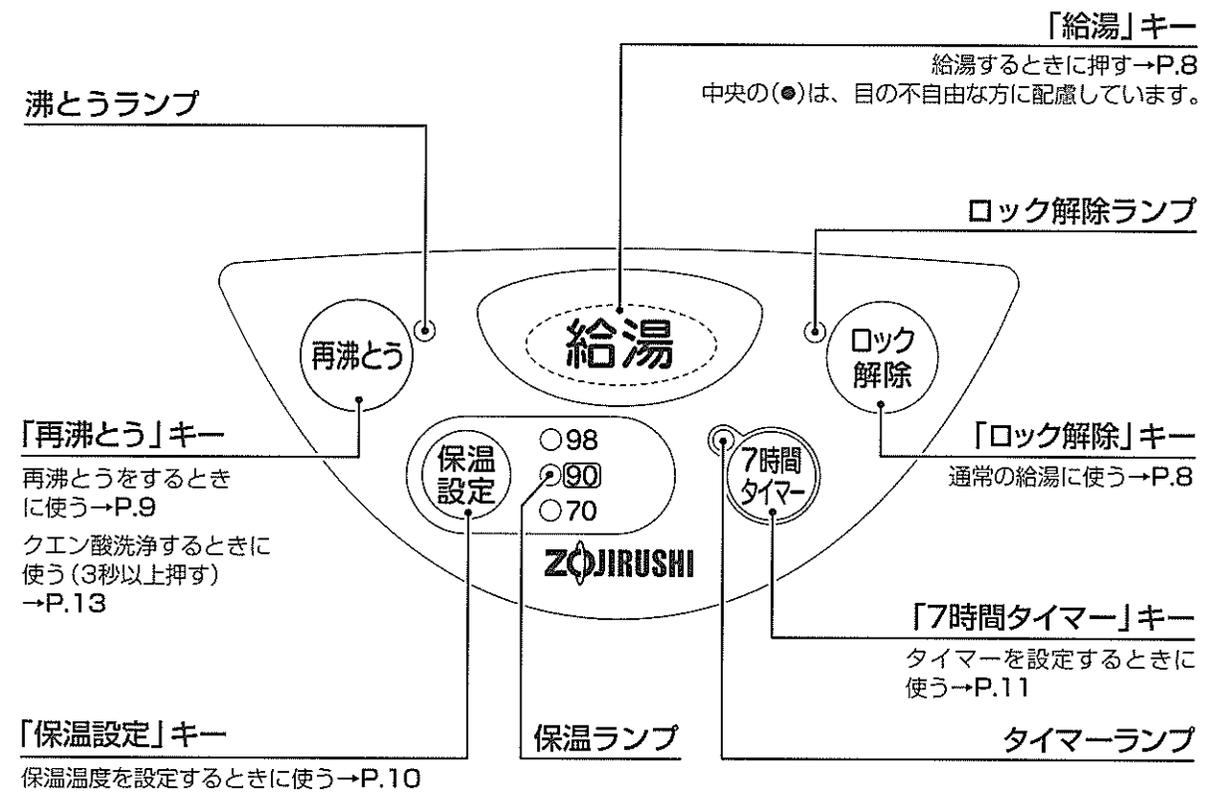
<p>■空だきはしない。火災・故障の原因になります。</p>	<p>■水以外のもの（氷・スープ・牛乳・レトルト食品・お茶など）は入れない。ティーバッグやお茶の葉を入れてわかしたり、インスタント食品を調理したりすると泡立ち、内容物がふき出してやけどをすることがあります。また水路が詰まったり内容物の焦げつきや腐食、フッ素被膜がはがれる原因になります。</p>	<p>■パネル部には湯がかからないように注意する。故障の原因になります。</p> 
<p>■落とす、ぶつけるなどの衝撃を与えない。故障・破損の原因になります。</p>	<p>■キッチン用収納棚などで湯わかしをする場合、蒸気が天井部分に当たらないように注意する。変色や変形の原因になります。</p>	<p>■ラジオなどの近くで使わない。ラジオ、テレビ、無線機、インターホンなどへの影響のないところまで離して使ってください。雑音が入る恐れがあります。</p>
<p>■熱源のそばやIH調理器の上で使用しない。火災・故障の原因になります。</p>	<p>■凍結する恐れのある場所に長時間電源を切って放置する場合は、必ず内容器内の水を完全にすてる。凍結による故障の原因になります。</p>	<p>■他の電気機器に蒸気が当たる場所では使用しない。蒸気により、電気機器の火災、故障、変色、変形の原因になります。</p>

各部のなまえと扱い方



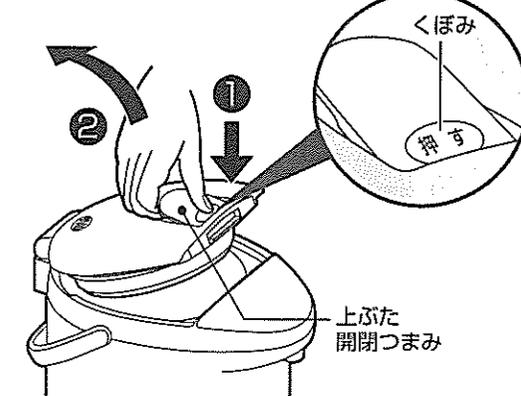
操作部

●キーは確実に押してください。



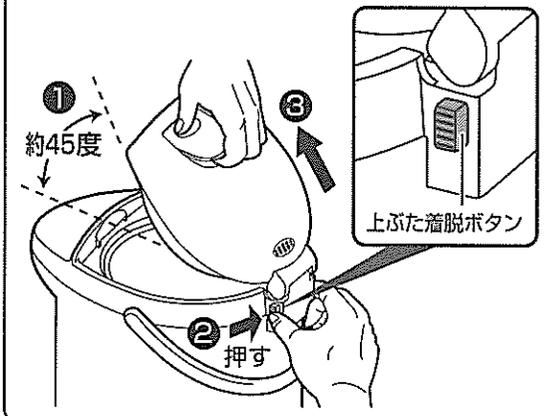
上ぶたの開け方・閉め方

- 開け方**
- ① 「上ぶた開閉つまみ」のくぼみを押す
 - ② そのまま引き上げ、上ぶたを開ける
- 閉め方** 上ぶたを「カチッ」と音がするまで確実に押し込む



上ぶたのはずし方・つけ方

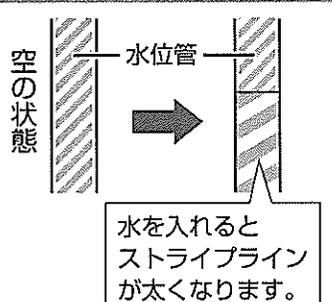
- はずし方**
- ① 上ぶたを約45度開ける
 - ② 「上ぶた着脱ボタン」を押す
 - ③ 押したまま、斜め上に引き抜く
- つけ方** 斜め上から奥に元どおり押し込む



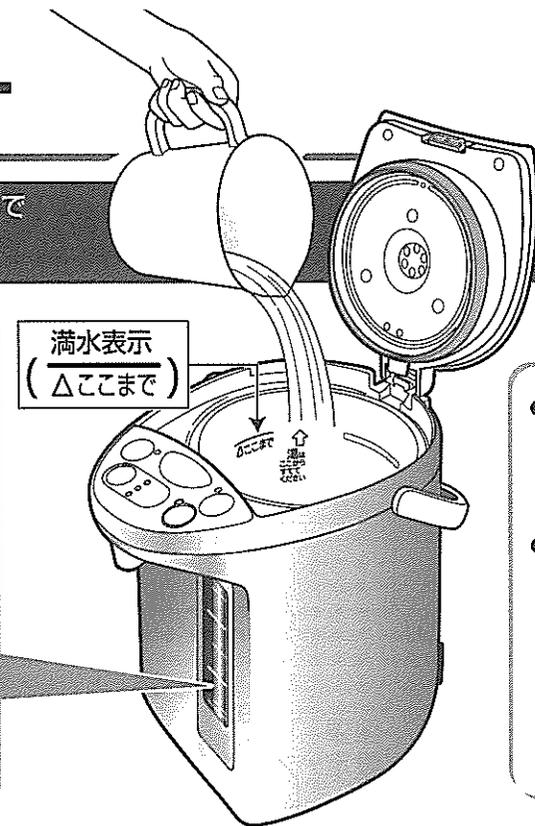
湯をわかす

1 上ぶたを開け、別の容器で水を入れる

水位管のストライプラインの太さがかわり水の量がひと目で分かります。

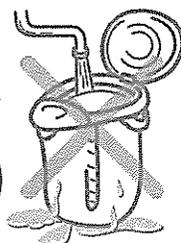


満水表示
(△ここまで)



お願い

- 蛇口から水を直接入れたり、流し台に置いて底面をぬらさないでください。(本体に水が入り故障の原因)
- 本体および操作部に水がかからないように注意してください。(水が入り故障の原因)



- 「満水表示」以上、水を入れないでください。(蒸気口から湯がふきこぼれる原因)
- 熱湯を入れないでください。(空だき防止機能がはたらく原因) →P.9
- 水以外のものは入れないでください。
- 市販の水質改質材(炭など)やミネラル添加材を入れて使用しないでください。(かけらが詰まり故障の原因)

使い初めはプラスチックなどのおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

●初めてお使いになるとき

●長期間お使いにならなかったとき

容器ネットを取りつけ、一度湯をわかし、ロックを解除して「給湯」キーを押して1L程度の湯を注いだ後、残り湯をすててから、ご使用ください。

●ミネラルウォーターの使用について

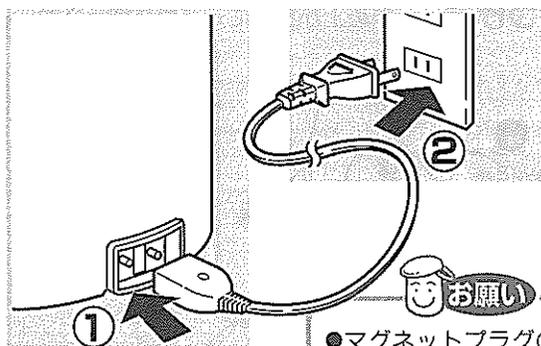
一部のミネラルウォーターを使用すると、水面に細かな浮遊物や内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分(ミネラル分)であり、有害ではありません。

2 上ぶたを閉め プラグを接続する



上ぶたは確実に閉めてください。

(倒れたときに湯が流れ出てやけどの恐れ)

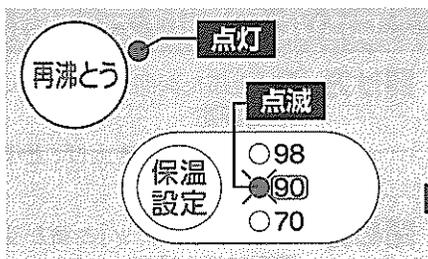


奥までしっかり差し込んでください。
(感電・ショート・発煙・発火の原因)

●マグネットプラグの先端にピンなど金属片やごみを付着させないでください。

蒸気セーブを行いながら自動的に湯わかしを開始

沸とうランプが点灯、保温ランプが点滅します。

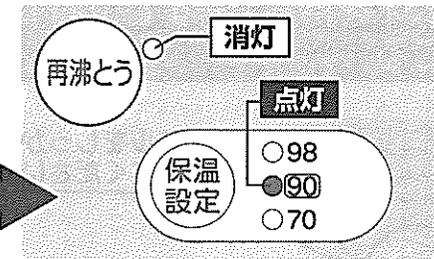


蒸気セーブ(沸とう)

沸とう直前にヒーターのパワーを下げ、気になる蒸気をおさえた、沸とう湯わかし機能です。(湯温は約100℃になります。)

●室温が低い冬場や湯の量が少ない場合は蒸気が見えやすくなります。

湯わかしが完了すると自動的に保温を開始(90保温)



湯わかしが終わるまで
2.2L 約21分※1
3.0L 約26分※1

※1 この時間には沸とう後のカルキとばし時間(約3分)が含まれています。(室温23℃、水温23℃、満水)

約90℃になるまで

2.2L } 約40分
3.0L }

●保温の設定●	
98保温	→P.10
70保温	→P.10

お願い

●保温中に湯が少なくなったら水をつぎ足してください。(自動的に湯わかしが始まります。)

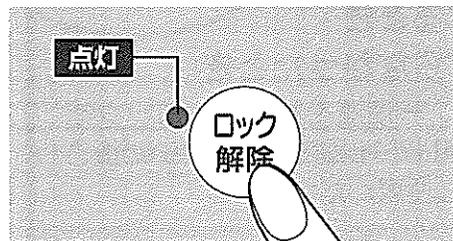
ただし、つぎ足す水の量が少ないと湯わかしにならない場合があります。その場合は「再沸とう」キーを押してください。→P.9

●やけどの恐れがありますので、以下の内容をお守りください。

- ・蒸気口にふきんをかけない
- ・蒸気口から出る蒸気に注意する
- ・沸とうランプ点灯中は上ぶたを開けない
- ・湯わかし中は湯を注がない

湯を注ぐ

1 ロック解除を押す



ロック解除ランプが点灯し、湯が注げる状態になります。

- ロック解除ランプが消えているときは湯は出ません。



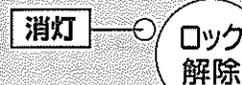
●内容器が空のとき、ロック解除して「給湯」キーを押さないでください。

2 給湯を押して湯を注ぐ



注ぐとき本体が回らないように注意してください。

- 湯わかし直後やしばらく給湯していない時は、湯がぬるい場合があります。1杯目の湯はすててください。
- 沸とう中や沸とう後しばらくは湯が出にくいことがあります。
- 湯わかしおよび保温中は本体が熱くなりますので注意してください。



注ぎ終わると約10秒後にロック解除ランプが消え、「自動給湯ロック」がかかります。

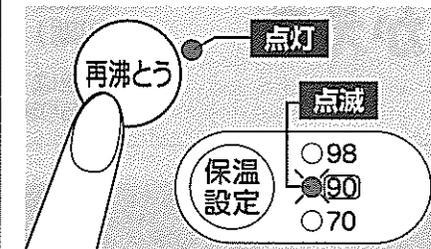
自動給湯ロック

うっかり「給湯」キーに触れたとき、湯が出ない安全機能です。

- 注がないときも約10秒後にロックされます。

再沸とう 保温中の湯を再びわかすときに使います。

再沸とうを押す 沸とうランプが点灯、保温ランプが点滅し、湯わかしを開始



再沸とうが終わるまでの時間
(室温23℃、満水)

98保温の場合
3~4分
90保温の場合
5~8分

再沸とうが完了すると保温に切りかわります。

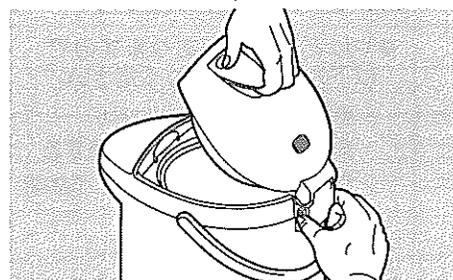
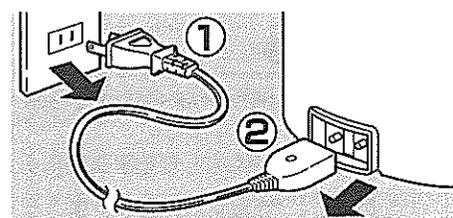
- 再沸とう時は、蒸気セーブにならないことがあります。
- 再沸とう中や再沸とう後しばらくは湯が出にくいことがあります。



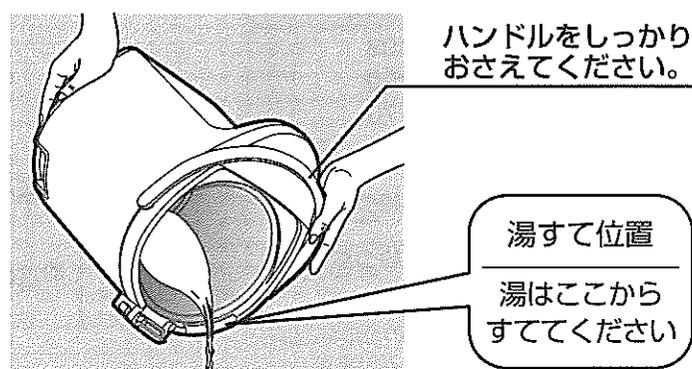
●再沸とうさせるときは、給水表示以上の湯が入っていることを確かめてから「再沸とう」キーを押してください。

残り湯をすてる

1 プラグを抜き、上ぶたをはずす



2 両手で本体を持ち「湯すて位置」からすてる



ハンドルをしっかりおさえてください。

湯すて位置

湯はここからすててください

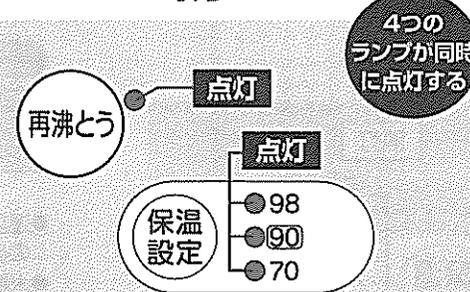


- 容器ネットをなくさないでください。
- 1日1回は残り湯をすててください。(水アカの付着の原因になります。)



- ぬれた手で差し込みプラグやマグネットプラグを持たないでください。(ショート・感電の恐れ)
- 上ぶたは必ずはずして湯をすててください。(上ぶたがはずれ、やけどの原因)
- 注ぎ口からのしずくが手にかからないよう注意してください。(やけどの原因)
- 操作部やヒンジ部・ハンドル・プラグ差し込み口に湯がかからないよう注意してください。(やけど・故障の原因)

空だき防止



4つのランプが同時に点灯する

●空だきを繰り返すとフッ素被膜が変色したり、はがれたりする原因になりますのでご注意ください。

次のようなときは、過熱による故障を防ぐために空だき防止機能ははたらいてヒーターへの通電が止まり、表示でお知らせします。

- 水を入れずにプラグを接続したとき
- 給水表示以下の水量で湯わかしたとき
- 湯を使いきったまま放置したり、給水するため上ぶたを開けたまま放置したとき
- プラグを接続後、すぐ熱湯を入れたとき

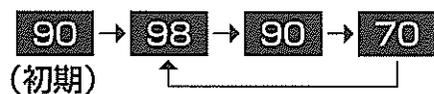
処置

プラグを抜き、内容器が十分冷めてから水を入れ、再びプラグを接続する

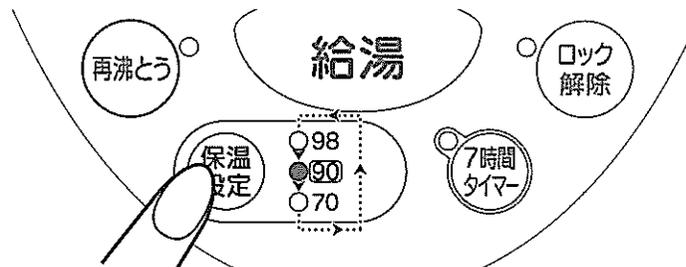
98保温 / 70保温

保温設定を押して設定を切りかえる

キーを押すたびにランプが移動し、保温温度の変更ができます。



プラグをはずし、再びプラグを接続すると90保温に戻ることがあります。



●切りかえは保温中でも行えます。
(湯の温度により、自動的に再沸とうを開始する場合があります。)

コーヒーや紅茶、カップめん

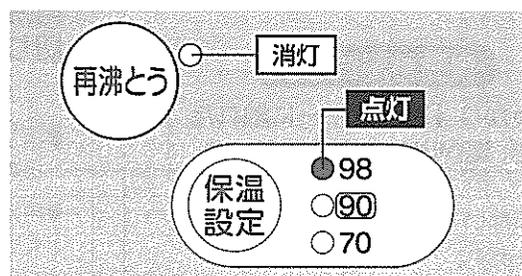
98保温

98℃はコーヒーや紅茶、カップめんをつくるのに適した温度です。

「98」を選ぶ

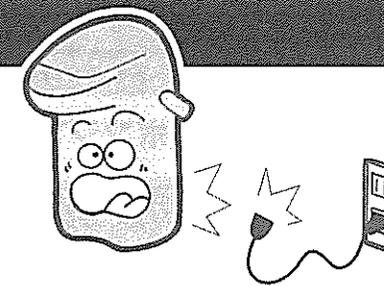
湯わかしが終わると沸とうランプが消灯、保温ランプが点灯

●沸とうし続けるのを防ぐため、気圧などの条件によっては、96~97℃で保温することがあります。



プラグがはずれた場合

- 誤ってプラグがはずれた場合、再びプラグを接続してください。
- 数分間プラグがはずれた状態が続いたあと、再びプラグを接続すると、90保温に戻り、自動的に再沸とうを開始することがあります。

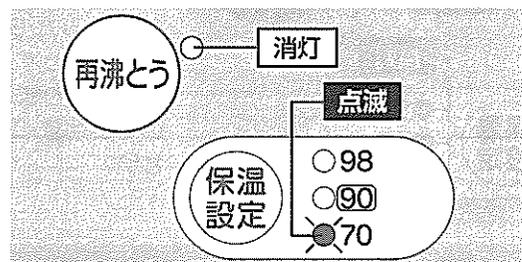


赤ちゃんのミルク作りに

70保温

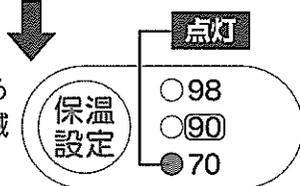
湯温を約70℃にします。

「70」を選ぶ



湯わかしが終わると沸とうランプが消灯、保温ランプが点滅
(保温中に設定した場合、70保温設定の2秒後に点滅にかかります。)

湯温が約70℃になると保温ランプが点滅から点灯に変わる



湯わかした後、湯温が70℃になるまでの時間

2.2Lの場合	約2時間20分
3.0Lの場合	

(室温23℃、満水の場合)

- 温度センサーが底部にあるため、構造上保温ランプの表示は上記の時間よりも早めにかかります。
- 水量・室温などにより時間が変化することがあります。
- 湯の温度を早く下げたい場合は、湯の量を減らしてください。
- 湯温が下がっている途中で給水すると、沸とうしないことがあります。

70℃の湯は赤ちゃんのミルク作りにちょうど良い温度です。粉ミルクを溶かしてから適温(人肌より少し熱め)まで冷ましてください。冷まさないと授乳すると、やけどの恐れがあります。

●ミルクを作るときは「70」保温ランプが点滅から点灯に切りかわっていることを確認してください。

しばらく給湯していない時は、湯がぬるい場合があります。1杯目の湯はすててください。

7時間タイマー

7時間タイマー

就寝時などしばらく使わないときは電気代を節約できます。
(7時間タイマー中はヒーターへの通電が止まります。)

7時間タイマーを押し、
7時間タイマーを設定する

7時間タイマーが自動的に開始

7時間後に湯わかし完了

沸とうランプが消灯、保温に切りかわります。

室温・水温・水量により7時間より前に湯わかしが完了します。



●タイマーランプと保温ランプが約2秒間同時に点灯します。



- 一度プラグがはずれると7時間タイマーは解除されますので改めて設定してください。
- タイマーを取り消すときは、「7時間タイマー」キーまたは「再沸とう」キーを1回押してください。

お手入れ

必ずプラグを抜き、残り湯をすて、本体が冷めてから行ってください。



- シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし類(ナイロン・金属製など)・漂白剤などを使わないでください。(フッ素被膜が傷つく原因)
- 食器洗い乾燥機、食器乾燥器を使用しないでください。(樹脂の変形の原因)
- 長期間使用しないときは、十分乾燥させて、ニオイが付かないようにし、ポリ袋などに入れて保管してください。
- 底がぬれた状態で製品を逆さまにして乾燥させないでください。(内部に水が入り、故障・さびの原因)

内ぶた

ぬれた柔らかいスポンジでふき取る

内容器

定期的にクエン酸洗浄をする→P.13

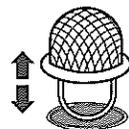
このようなときに…

- 赤さび状の斑点(もらいさび)がある
- 乳白色・黒色などの変色・膜状のものが浮遊している
(使用される水質や湯わかしの回数によって汚れの状態は違ってきます。)

容器ネット

内容器からはずし、ブラシで洗う

引き抜くとはずれます。取りつけるときは、しっかりと押し込みます。



汚れが取れない場合は、容器ネットを交換してください。

- 必ず取りつけて使用してください。
(異物が電動ポンプ内に入り、湯が出なくなる原因)

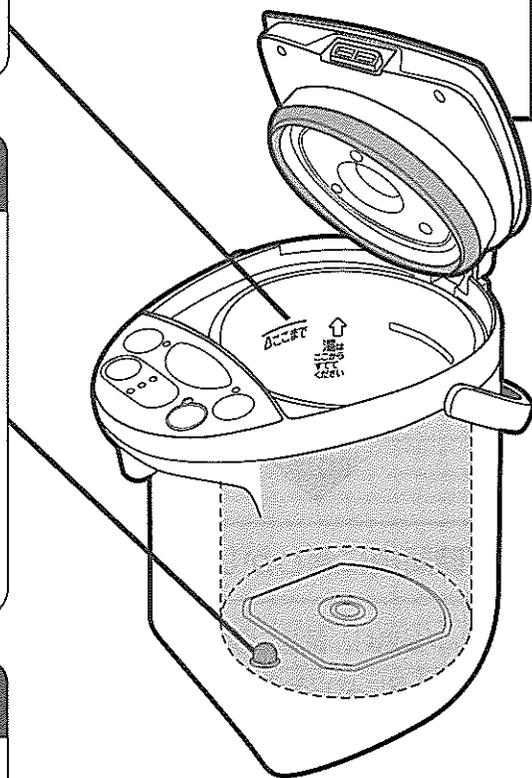
電源コード

乾いたふきんで汚れをふき取る

本体・上ぶた

よく絞ったふきんで汚れをふき取る

- 丸洗いや操作パネル部には水をかけないでください。(内部に水が入り、故障・さびの原因)



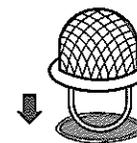
1~3カ月に1回は

クエン酸洗浄(ピカポット)



泡立ち、ふきこぼれ防止のため弊社のピカポット(ポット内容器洗浄用クエン酸)をお使いください。(別売)→P.14 参照

準備 内容器に容器ネットが取り付けられているか確認する



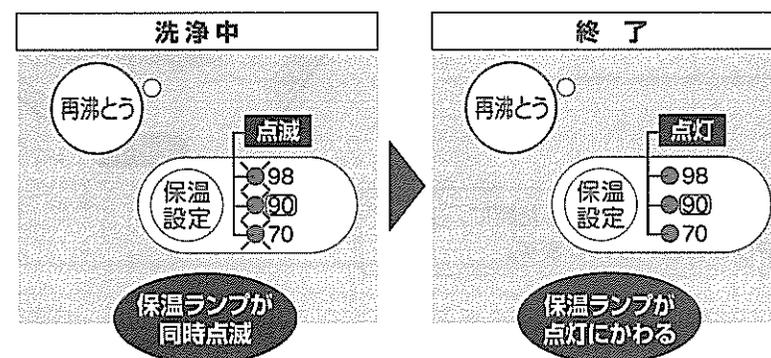
- 容器ネットが汚れている場合は、内容器からはずし、ブラシで洗って再度取り付けてください。

1 コップにクエン酸30gを入れて、ぬるま湯で溶かし、内容器に水といっしょに満水表示(△ここまで)まで入れる



- 水は満水表示以上入れないでください。
(ふきこぼれる恐れ)

2 上ぶたを閉めプラグを接続して、(再沸とう)を3秒以上押す



洗浄時間
約1時間30分
※洗浄時間は、水量・水温・室温などにより多少かわります。

3 プラグ・上ぶたをはずして湯を湯すて位置からすてる

4 水だけをわかし、湯をコップ1杯程度吐出させたあと、残りの湯をすてる(内容器および注ぎ口内部をすすぐため)

途中でクエン酸洗浄を取り消す場合は **プラグを5秒以上** 抜いてください。



- 汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄をしてください。

- アルカリイオン水をご使用になる場合は内容器にカルシウムが付着しやすくなります。また、内容器や容器ネットに付着した水アカなどの汚れをそのままにしておくと、湯わかしの音が大きくなり、湯の出が悪くなります。

交換部品・別売品

内ぶたパッキンの交換

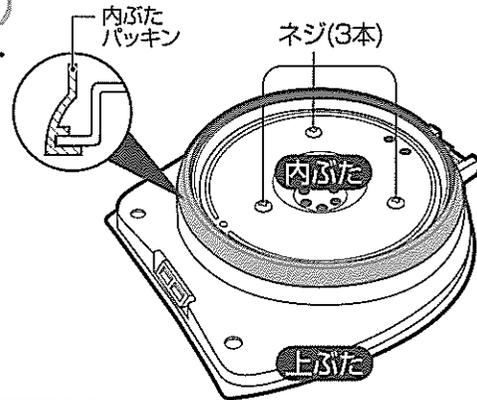
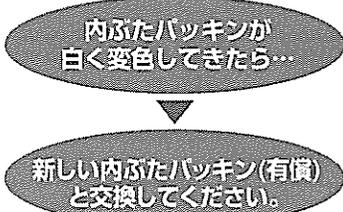
内ぶたパッキンは消耗品です。1年を目やすにご確認ください。

新しい内ぶたパッキンは、ぬれた柔らかいスポンジでふいてから取りつけてください。

はずし方

- ① 3本のネジをゆるめる
- ② 内ぶたパッキンをはずす

お願い
●ネジは上ぶたからはずさないでください。万一はずれた場合、ネジをなくさないでください。



つけ方

- ① 内ぶた外周に、内ぶたパッキンを図の通りきっちりとはめ込む
- ② ネジを確実に締めつける

お願い
●内ぶたをはずした場合は、正しく取りつけてください。

内ぶたパッキンが白く変色すると、傾けたり誤って倒した時に、上ぶたと本体のすき間から湯が流れ出てやけどの恐れがあります。

交換部品・別売品

- 損傷した場合は、新しい部品と交換(有償)してください。
- お買い上げの際には製品の型名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。

部品名	部品番号
内ぶたパッキン	625702-00
電源コード	CD-KD12-J
容器ネット	BF297053G-00
ポット内容器洗浄用クエン酸ピカポット(30g×4包入)	CD-KB03-J

商品Q&A

水以外のものを入れてもいいのですか?	故障の原因や、入れたものがふき出してやけどの恐れがあります。水以外のものは入れないでください。	P.2 P.3
毎日湯はかえないといけないのですか?	水アカ付着の原因になりますので、1日1回は、残り湯をすててください。	P.8
ミネラルウォーターを利用してもいいのですか?	一部のミネラルウォーターを使用すると、水面に細かな浮遊物や内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分(ミネラル分)であり、有害ではありません。	P.7
アルカリイオン水を利用していいのですか?	アルカリイオン水をご使用になると、内容器にカルシウムが付着しやすくなります。まめにお手入れをしてください。	P.13
クエン酸洗浄中に湯を飲んでしまった!!	クエン酸洗浄剤に記載されている内容に従ってください。	
電気ポットの電源を入れたままで外出しても大丈夫?	万一、水がなくなったときに空だき防止機能(ヒーターへの通電をOFFにします)がはたらきますのでご安心ください。	P.9

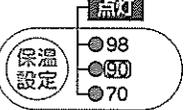
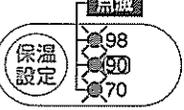
故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、一度お調べください。

	症状	原因	処置
湯をわかす	湯がわかない	プラグがはずれていませんか?	プラグを差し込んでください。
	湯がにおう	長期間使わなかった。 ●使い初めはプラスチックなどのおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。 ●水道水に含まれる消毒用塩素(カルキ臭)が残ることがあります。	一度湯をわかし給湯キーを押し、1L程度の湯を注いだ後、残り湯をすててからご使用ください。→P.7
湯をそそぐ	注ぎ口や蒸気口から湯が自然に出る	水を満水表示以上入れていませんか?	水を満水表示以下に減らしてください。
	湯がぬるい	湯わかし直後やしばらく給湯していない時は、湯がぬるい場合があります。	1杯目の湯はすててください。
	湯が出ない 出にくい	沸とう直後数分間は、湯が出にくくなる場合があります。 内容器・容器ネットに水アカなどがついていませんか? 自動給湯ロックになっていませんか? プラグがはずれていませんか? 水路にカルシウムが付着して湯が出にくくなる場合があります。	一度上ぶたを開け、泡を逃がした後上ぶたを閉めてください。(蒸気に注意) 内容器・容器ネットをお手入れしてください。→P.13 ロック解除を押してから給湯を押してください。→P.8 プラグを差し込んでください。 クエン酸で内容器をお手入れしてください。→P.13

故障かなと思ったとき っづき

保 温	症 状	原 因	処 置
	湯の中で膜状のものが浮遊している (フッ素被膜がはがれてきているのでは?)	水の成分(ミネラル分)によるもので、内容器の腐食やフッ素被膜のはがれではありません。	クエン酸で内容器をお手入れしてください。→P.13
	内容器に乳白色のザラザラしたものがつく (湯わかし中に大きな音がする)	内容器についた水アカなどの汚れをそのままにしておくと、音が大きくなります。	水アカ お使いいただいているうちに、水の中に含まれているカルシウムなどのミネラル分が、内容器や容器ネットに付着してきます。これは「水アカ」と言われているもので、有害ではありません。
	内容器に赤さび状の斑点がつく	水の中の鉄分によるもので、内容器の腐食ではありません。	

こんな表示をしたときは	症 状	原因	処 置
	4つのランプが同時に点灯する	 点灯  再沸とう ●98 ●90 ●70 保温設定	水が少なかったり、熱湯を入れたため、空だき防止機能がはたっています。→P.9
保温ランプが同時点滅する	 再沸とう  点滅 ●98 ●90 ●70 保温設定	クエン酸洗浄中です。→P.13	クエン酸洗浄を取り消す場合、プラグをいったん抜き、5秒以上たってからもう一度差し込んでください。

上ぶたの消耗	内ぶたパッキン	●内ぶたパッキンは消耗品ですので、1年を目やすにご確認ください。上ぶたのすき間から蒸気がもれたり、白く変色してきた場合は交換してください。→P.14
樹脂部品	●上ぶたの樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。食品衛生上安全な材料を使用していますが、樹脂部品が変色したりザラザラしてきた場合は、交換(有償修理)してください。	
その他	本体が熱くなる	●湯温や室温が高い場合は本体外側が約60℃になる場合がありますが異常ではありません。
	電源コードが熱くなる	●湯沸かし中は、電源コードが熱くなる場合がありますが異常ではありません。
	上ぶたを開閉するときに「カラカラ」という音がする	●万一転倒した場合、湯の流出を防止するためのおもりの動く音です。異常ではありません。
表示部がくもる	●蛇口から給水したり、流し台に直接置いて底面がぬれたりすると、本体に水が侵入し、表示部がくもることがあります。ショート・感電の原因になりますので使用を中止してください。	

内容器(フッ素加工)は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。お買い求めの販売店または、弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。

アフターサービス

- 1. 保証書の内容のご確認と保存のお願い**
必ず「販売店印およびお買い上げ日」をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り、内容をよくお読みのうえ、大切に保存してください。
- 2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間**
- 3. 修理をお申しつけされる時**
 <保証期間中>
 製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。
 <保証期間を経過しているとき>
 修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。
- 4. 補修用性能部品**の保有期間は、製造打ち切り後5年間**
 ※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 5. 修理料金の仕組み**
 修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。
 「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
 「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。
 「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
■お客様ご自身での修理、分解や改造は絶対に行わないでください。

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。ご転居やご贈答などでお困りの場合、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。所在地、電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

ホームページのご案内
 消耗品・部品のご購入専用ページ
<http://www.zojirushi-de-shopping.com/>

お客様ご相談センター

0570-011874

ナビダイヤル 市内通話料金でご利用いただけます

受付時間 9:00~17:00
 月曜日~金曜日(祝日、弊社休業日を除く)

- 携帯電話・PHS・IP電話など(ナビダイヤルが利用できない電話)でのお問い合わせ Tel (06)6356-2451
- ファクシミリでのお問い合わせ Fax (06)6356-6143

製品の「型名・お問い合わせ内容」と、お客様の「お名前・ご住所・電話番号・Fax番号」をご記入のうえ、お問い合わせください。

